

第1学年 国語科学習指導案

1. 単元名 くらべてよもう「じどう車くらべ」

2. 指導観

本学級の子ども達は、「いろいろな くちばし」で、初めて説明的な文章に出会っている。この学習を通して、「写真をよく見て言葉と結びつけ情報を得ることの楽しさ」、「くちばしの特徴とその働きの大体を読み取る力」、「くちばしの特徴・問い—答えながら説明」という説明的文章の基本文型の知識とそれを使う技能、「くちばしの形の違いは、えさと役割の違いであるとの認識」を身につけてきた。このような子ども達に、話題・問題提示に対する答えと説明の部分をさらに発展させ、「じどう車くらべ」のように、説明が仕事とそのための仕組みという二つの要素で構成される文章に出会わせることは、文章表現上の順序に気づいて大体を読み取る力を伸ばすとともに、論理的思考力を養う上でも価値がある。

また、本学年の子ども達は、「話す・聞く」「書く」の学習を通して、「話すために必要な事柄を思い出すこと」、「語と語や文と文との続き方に注意して書くこと」、「大事なことを落とさないように興味をもって聞くこと」、「話す事柄を順序立てること」を身につけている。

本教材「じどう車くらべ」は、子ども達にとって身近な自動車を題材にしている。そのため、挿絵や経験と繋ぎながら読み進め、書かれている内容の大体を理解していくことができる。

文章の特質としては、前書きで子ども達の関心をいろいろな自動車に誘い、その後、「しごと」と「つくり」という二つの事柄の因果関係を「バスやじょうよう車」、「トラック」、「クレーン車」に分けて、同じ文型で繰り返し説明している点があげられる。「しごと」と「つくり」を視点に読み進めることで、説明が「しごと」のまとめりと「つくり」のまとめりから構成されていることや「そのために」が果たしている役割に気づくことができるであろう。

また、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を比べることで、自動車は仕事に応じたつくりになっていること、さらに、「いろいろな くちばし」を想起することで、事物は役割に応じた構造になっていると気づくことができ、他の事物の見方に発展していける教材である。

本単元では、自動車の「しごと」と「つくり」の因果関係を読み取り、その学習を活かして他の自動車を説明する簡単な文章を書いたり、身近な生き物の特徴をその原因や理由と繋いで順序立てて話したりする活動を取り入れる。ここでの言語活動例は、「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」である。必要な情報を集めるために視点をもって文章を読み、文章表現上の順序に気づいて大体を読み取る力と比べて考える力を伸ばしていきたい。「じどう車くらべ」で学んだ読み方で説明的文章を読み、新たな発見をしていくことは、読む価値と楽しさを実感させ、子ども達の生活に生きる「ことばの力」になっていくであろう。

指導にあたっては、まず、挿絵を手がかりにしながら題名と冒頭を読み、「しごと」と「つくり」の視点をもたせて両者にはつながりがありそうだと予測させる。次に、文章を読み、「大事な言葉や文を書き抜く」、「挿絵や経験と言葉を繋ぐ」、「動作化する」などの手立てを取りながら書かれている内容の大体を読み取る。このとき、「そのために」が果たしている役割を子どもの言葉で表現させるようにしたい。最後に、説明文の文型を活かして他の自動車の「しごと」と「つくり」を説明する活動、生活科の学習との関連を図り身近な生き物の特徴を原因や理由と繋いで順序立てて話す活動を取り入れ、学んだ力が自分の生活の中で生きて働く手助けとなるようにしたい。

3. 単元の目標

「そのために」に着目して文章表現上の順序に気づきながら、書かれている自動車の「しごと」と「つくり」の大体を読み取るようにする。

三種類の自動車の「しごと」と「つくり」の違いを比べて読むことで、事物はそれぞれ役割に応じた構造になっていると気づくことができるようにする。

視点をもって図鑑や文章を読み、必要な事柄を集めて、身の回りの自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いたり、身近な生き物の特徴をその原因や理由と繋いで話したりすることができるようにする。

4. 単元構想図

目 標

「そのために」に着目して文章表現上の順序に気づきながら，書かれている自動車の「しごと」と「つくり」の大体を読み取ることができるようにする。

三種類の自動車の「しごと」と「つくり」の違いを比べて読むことで，事物はそれぞれ役割に応じた構造になっていると気づくことができるようにする。

視点をもって図鑑や文章を読み，必要な事柄を集めて，身の回りの自動車の「しごと」と「つくり」を説明する文章を書いたり，身近な生き物の特徴をその原因や理由と繋いで話したりすることができるようにする。

言語活動例

ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと

題名と冒頭の課題文から読みのめあてを生み出す

挿絵を読む・フォトランゲージ
問題提示文に着目する
読みのめあて

それぞれのじどう車は，どんなしごとをしていて，そのために，どんなつくりになっているのかな。くらべてよもう。

全文を読み，「しごと」と「つくり」を表にして読みのめあての答え（予見）を見つける

「しごと」と「つくり」のまとまりを意識する

それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」のつながりを読み確かめる

挿絵を読む（挿絵と言葉とをつなぐ）
動作や体験経験と言葉とをつなぐ
他の自動車との違いに着目する
「そのために」の働きを確かにする

読みと読み方のまとめを行なう

題名と冒頭にもどって，それぞれの自動車には「しごと」があって，その仕事がかまくいくような「つくり」になっていることをまとめる
「しごと（役割）」と「つくり（構造）」を「そのために」でつなぐ文章表現上の順序が分かる

自動車図鑑を作ろう

「しごと」と「つくり」を「そのために」でつないだ自動車図鑑を作る。

「話すこと・聞くこと」
ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め，必要な事柄を思い出すこと。

「読むこと」
イ 事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。

「話すこと・聞くこと」
エ 大事なことを落とさないようにしながら，興味をもって聞くこと。

「書くこと」
イ 自分の考えが明確になるように，事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

「書くこと」
ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら，つながりのある文を書くこと。

【生活科】

「生きもの 大すき」

公園や校庭には，いろいろな生き物がいるよ。どんな生き物がいるのか見つけに行こう。

いろいろな生き物を見つけたよ。形や色や大きさ，動きなどが違うのはどうしてかな。

きっとわけがあるよ。調べてみんなに教えてあげよう。

生き物の特徴とそうになっている原因や理由が書かれた文章を読んで調べる。

生き物発表会をしよう

特徴と原因や理由を写真を示しながら発表する。

「話すこと・聞くこと」
イ 相手に応じて，話す事柄を順序立て，丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて話すこと。

5. 学習計画

時	学 習 活 動 と 内 容	指導上の留意点(は他の領域の内容の関連)
1	<p>1. 単元名, 題名と挿絵をもとに気づいたことを話し合う。</p> <p>(1) 単元名と題名から自動車を比べて読むという学習のめあてをもつ。</p> <p>(2) 挿絵を見て, 自動車について分かったこと, それぞれの自動車について自分の経験で知っていることを伝え合う。</p> <p>2. 冒頭の課題文に着目し, 読みのめあてをつくる。</p> <p>読みのめあて</p> <p>それぞれのじどう車は, どんなしごとをしていて, そのために, どんなつくりになっているのかな。くらべてよもう。</p>	<p>拡大した挿絵とそれぞれの自動車を切り抜いた絵(写真)を準備して, 比べるという意識が生まれやすいようにする。</p> <p>子どもの発言を「しごと」と「つくり」に分けて板書して, 「しごと」と「つくり」の意味を具体化する。</p> <p>自動車の絵を少しずつ見せたり自動車に乗ったり見たりした経験を尋ねたりしながら, 話すために必要な事柄を思い出させるようにする。</p> <p>つくりが違うわけを問い, 今までも物事にはわけがあったことから, 「しごと」と「つくり」が繋がっているのではと予測させる。</p>
2	<p>1 「しごと」と「つくり」を確かめながら, 全文を通読する。</p> <p>2 「バスやじょうよう車」「トラック」「クレーン車」に分けて調べる。</p> <p>(1) 「しごと」と「つくり」が分かる言葉や文に線を引き, 表に書き抜く。</p> <p>(2) 「しごと」と「つくり」を「そのために」が繋いでいることを知り, 大事な言葉として書き抜く。</p> <p>3 三つの自動車を比べ, 「しごと」と「つくり」にはつながりがあることを見通し, 確かめていく意欲をもつ。</p>	<p>難語句について補足説明をする。</p> <p>挿絵を提示して, 説明されている事柄に気づくことができるようにする。</p> <p>「しごと」は赤, 「つくり」は青に色分けして線を引くように指示する。</p> <p>書き抜きやすい学習プリントを工夫する。</p> <p>教科書に引いた赤線と青線の間, 線が引かれていない言葉「そのために」があることに気づかせる。</p> <p>なぜそのような「つくり」になっているのかを問い, 子どもの返答を本当にそうかと問い返して, 読み確かめる必要感を生み出す。</p>
3	<p>1 「バスやじょうよう車」の説明を音読して, 「しごと」と「つくり」を読み取るための大事な言葉を視写する。</p> <p>2 「バスやじょうよう車」の「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>(1) どんな「しごと」かを確認する。</p> <p>(2) どんな「つくり」になっているかを確認する。</p> <p>(3) 「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。</p>	<p>バスや乗用車の絵を提示して, どの自動車の学習であるかを捉えやすいようにする。</p> <p>挿絵を言葉と繋ぎながら「つくり」を具体化させていく。</p> <p>そのようなつくりになっているよさを話し合わせ, 「しごと」に繋いでいく。</p> <p>座席は狭い方がたくさん乗れるのではないかと, 窓の大きさは乗せて運ぶこととは繋がらないのではないかと問い返ししながら, 両者のつながりを確かにしていく。</p>
4	<p>1 「トラック」の説明を音読して, 「しごと」と「つくり」を読み取るための大事な言葉を視写する。</p> <p>2 「しごと」と「つくり」を読み取る。</p> <p>(1) どんな「しごと」かを確認する。</p> <p>(2) どんな「つくり」になっているかを確認する。</p> <p>(3) 「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。</p>	<p>トラックの絵を提示して, どの自動車の学習であるかを捉えやすいようにする。</p> <p>挿絵を言葉と繋ぎながら「つくり」を具体化させていく。</p> <p>そのようなつくりになっているよさを話し合わせ, 「しごと」に繋いでいく。</p> <p>荷台が広いことのよさやタイヤがたくさんついていることのよさを問い返ししながら, 両</p>

	読み取る。	者のつながりを確かにしていく。
5	<ol style="list-style-type: none"> 1 「クレーン車」の説明を音読して、「しごと」と「つくり」を読み取るための大事な言葉を視写する。 2 「しごと」と「つくり」を読み取る。 (1) どんな「しごと」かを確認する。 (2) どんな「つくり」になっているかを確認する。 (3) 「しごと」と「つくり」のつながりを読み取る。 	<p>クレーン車の絵を提示して、どの自動車の学習であるかを捉えやすいようにする。</p> <p>挿絵を言葉と繋ぎながら「つくり」を具体化させていく。</p> <p>そのようなつくりになっているよさを話し合わせ、「しごと」と繋いでいくようにする。</p> <p>動作化を取り入れながら、両者のつながりを確かにしていく。</p>
6	<ol style="list-style-type: none"> 1 はしご車の「しごと」と「つくり」を考えて、みんなで作った文を視写する。 2 題名と冒頭にもどり、読みと読み方のまとめを行う。 3 自動車図鑑を作る意欲をもち、図鑑や経験を参考に自分が説明したい自動車を選ぶ。 	<p>はしご車についての経験を出し合わせ、「火事のとくに働く」という視点から「つくり」を見つけさせる。</p> <p>「しごと」に応じた「つくり」になっていること、「そのために」で繋ぐ説明の順序、比べて考えるよさをまとめる。</p>
7	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急車を例に、何をどのように取材すればよいかを見通す。 2 選んだ自動車について図鑑などを使って調べる。 3 集めた材料から必要な事柄を選び、「しごと」と「つくり」を「そのために」で繋いで説明する簡単な文章を書く。 	<p>用紙に自動車の絵をかき、「しごと」と「そのためのつくり」を取材させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。</p> </div> <p>色別のカードを使い、事柄の順序にそって簡単な構成を考えさせる。</p>
8	<ol style="list-style-type: none"> 1 書いたものを見直し、清書する。 2 友達と交換して読み合い、一冊の図鑑に綴じ合わせる。 	<p>今までに学んだ「書くこと」の知識・技能を提示し、語と語や文と文との続き方に注意させる。</p>
9 本時	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活科で見つけた生き物の絵を比べて、特徴があることに気づく。 2 調べたい生き物を選んで、必要な事柄を「生き物カード」に取材する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が調べたいことに合った資料を選ぶ。 ・ 「生き物がしていること」と「そのためのつくり」という視点をもって、資料を読む。 	<p>生き物の特徴も、「すること」に応じた「つくり」になっていると予測させ、「そのために」で繋いだ説明ができることに気づかせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。</p> </div> <p>ねらいと実態に応じた資料を準備する。</p> <p>話題に沿って思い出したり図鑑や文章で確かめたりし、必要な事柄を取材させる。</p>
10	<ol style="list-style-type: none"> 1 再取材したり様子を表すことばを工夫したりする。 2 話す事柄の順序を考え、発表の練習をする。 	<p>色分けされたカードをもとに、既習の話形や「そのために」を使いながら、話す事柄の順序を決めさせる。</p>
11	<ol style="list-style-type: none"> 1 生き物発表会を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物の絵を見せながら発表する。 ・ 「生き物のしていること」と「つくり」のつながりを観点に聞く。 2 単元のまとめを行う。 	<p>大事なことを落とさないように興味を持って聞くことができるようにする。</p> <p>生き物は、生きていくために必要な「つくり」になっていることに気づかせる。</p> <p>生活の中で活用できる形でまとめる。</p>

6. 本時の目標 (9/11)

- 「いきものがしていること」と「つくり」とのつながりを調べるという視点をもって生き物について説明した文章や図鑑を読み、内容の大体を捉えることができるようにする。
- 生き物の特徴とその働きには、つながりがあることに気づくことができるようにする。
- 身近な生き物について気づいたり経験したりしたことなどから、話したり聞いたりする話題を設定し、それに合わせて必要な事柄を取材することができるようにする。

7. 本時指導の考え方

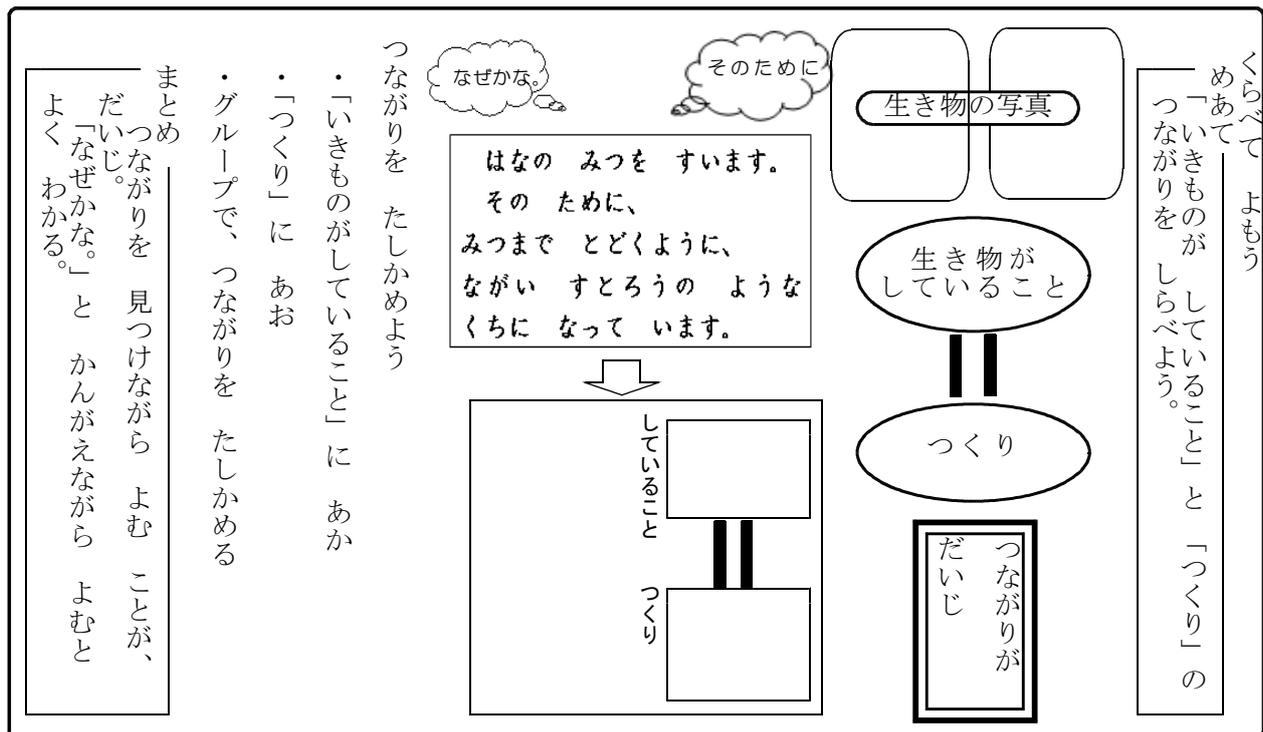
- 前時までには子ども達は、自動車の「しごと」と「つくり」を比べる学習を行ってきた。その中で自動車は、それぞれの仕事に応じたつくりになっていることを捉えてきている。また、「そのために」で繋ぐ説明のよさについて学び、それを使って他の自動車の「しごと」や「つくり」についても、説明できるようになってきている。

本時は、生活科の学習において自分が捕まえ、育てている生き物について紹介するために、資料を読んで取材をしていく学習である。言語活動例「ウ 事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読むこと。」を取り入れ、生き物の仕組みなどについて説明した図鑑や文章を読み、「いきものがしていること」と「つくり」のつながりについて、取材をすすめることができるようにしたい。

本時指導にあたっては、今まで学んだ知識や技能を活用して、生活に生きる「ことばの力」を伸ばすために、次のような手立てをとる。

- ・ 子ども達が見つけた生き物の写真を提示し、特徴がその働きに応じたつくりになっていることを予測させる。
- ・ 生き物の特徴とその働きが繋がっていない文章を提示して、つながりを考えて取材する必要感をもたせる。
- ・ 教材文の特質を踏まえ、「話すこと・聞くこと」の指導事項「ア 身近なことや経験したことなどから話題を決め、必要な事柄を思い出すこと。」との関連を図った資料を作成、準備する。
- ・ モデルを使って、適切な取材の仕方を考えさせる。
- ・ 「いきものがしていること」を赤、「つくり」を青で印を付けさせていくことにより、生き物の特徴とその働きの繋がりを視覚的に意識できるようにする。

8. 板書計画



6. 本時の展開 (9 / 1 1)

学 習 活 動 と 内 容	指 導 上 の 留 意 点 (は 他 の 領 域 の 内 容 の 関 連)
<p>1 本時学習のめあてを確認する。</p> <p>(1) 生活科で見つけた生き物の写真を見てその特徴に気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「口の形が違うのはなぜだろう。」などの問題意識をもつ。 <p>(2) 生き物の「特徴」と「そうになっているわけ」に着目して、本時学習への意欲を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑や資料で調べ、発表会で教え合う学習の見通しをもつ。 	<p>子ども達が見つめてきた生き物の中から、「どの子どもにも馴染みがあるもの」「比べて特徴が際だつもの」を選び、特徴が思い描きやすいようにする。</p> <p>なぜそのようになっているのかを問い、自動車と同じように役目に応じたつくりになっていると予測させる。</p> <p>自分が経験したことを想起して、そうになっている訳を話した子どもを賞賛する。</p> <p>「じどう車くらべ」の想起を賞賛しながら、「本当にそうか。」と問い直し、図鑑や資料で調べ、発表会をする意欲を高める。</p>
<p>めあて いきものの 「していること」と 「つくり」の つながり を しらべよう。</p>	
<p>2 モデルをもとに、生き物の仕組みなどについて説明した文章や図鑑の読み方を確認する。</p> <p>(1) 教師の発表を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生き物が「していること」と「つくり」のつながりを意識する必要性をもつ。 <p>(2) 「ちょう」をモデルにして、取材の仕方を全体で確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「していること」のまとめり、「つくり」まとめりを見つけ、「そのために」で繋げるのかを考えるとよいことを知る。 ・ 自分が見たことや知っていることと繋いで読んでいくと分かりやすいことに気づく。 <p>3 必要な事柄を取材する。</p> <p>(1) 「生き物のしていること」と対応している「つくり」を見つけ、必要な事柄を書き抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 説明の順序に気づく。 ・ 書かれていることの大体をとらえ、自動車と同じように「していること」に応じた「つくり」であると気づく。 <p>(2) 「していること」と「つくり」が対応しているかを見直す。</p>	<p>生き物が「していること」と「つくり」の間につながりが見えない例文を教師が発表し、文章や図鑑を「つながり」を視点に読む「読み方」を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(例) ちょうは、ひらひら飛びます。 そのために、くるくる巻いた口をしています。</p> </div> <p>「じどう車くらべ」の学習を振り返り、「つながり」が分かる説明の言葉「そのために」を考えて取材していくとよいことを指示する。</p> <p>「じどう車くらべ」と同じ手順をとり、既習の学習内容が生きて働くようにする。</p> <p>子ども達の経験をもとにした発言を促すために、「『長いストローのような口』になっているとなぜよいのか。」などを問い、必要な事柄を思い出して書かれている内容と繋ぐとよく分かることに気づかせる。</p> <p>「大事な読み方」として、次の三点を押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「していること」と「つくり」を見つける。 ・ 「『そのために』でつながるかな。」と考える。 ・ 「なぜそうになっているのかな。」と考える。 <p>子どもが調べたい生き物を事前に把握し、実態に応じた資料を用意して、選ばせる。</p> <p>「生き物がしていること」を赤、「つくり」に青をつけるように指示する。</p> <p>机間指導を行い、戸惑っている子には、適切な資料を提示しアドバイスをする。</p> <p>子どもの実態に応じて、二つ、三つと取材を広げてよいこと、知っている情報を付け加えてよいことを助言する。</p>
<p>4 本時学習のまとめをし、次時学習へつなぐ。</p>	<p>本時学習のまとめとして、つぎのことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ つながりを見つけながら読むことが大事。 ・ 「なぜかな。」と考えながら読むとよく分かる。 </div> <p>次時は再取材と、発表の準備であることを知らせる。</p>